

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-25 男女共同参画プラン推進事業 □支援部門									
主管課	文化人権推進課(人権・男女共同参画課) 関連課 人権・男女共同参画施策推進連絡会の構成課									
分野名	男女共同参画社会									
目標 (目標値)	審議会等における女性委員の登用を進め、市の施策・方針決定の場への男女共同参画を推進する。目標は男女いずれか一方の数が総数の10分の4未満とならないこと。									
人口等のデータ	23年度	22年度	21年度	備考						
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯						
運営資源状況	事業の対象者数									
	決算値(千円)	5,486	3,933	4,113						
	(国・県)									
	(負担金等)	665	55	202						
	(一般財源)	4,821	3,878	3,911						
	人員配置数	2.0	2.0	2.0						
	人件費(千円)	17,215	17,166	17,704						
事務事業運営経費	協働のパートナー	アンサンブル21	アンサンブル21	アンサンブル21						
	総事業費(千円)	22,701	21,099	21,817						
	市民1人当りの経費(円)	128	119	123						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	横浜市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市	横須賀市	三浦市			
	女性登用目標値	35%	40%	40%	40%	30%	30%以上			
指標	目標年度	毎年	平成23年度	平成23年度	平成27年度	-	平成23年度			
	最終年度(年度)									
審議会等における女性委員登用率を高める ◎目標を達成 ○目標に向かって前進	評価	△	目標値	27%	30%	30%	24年度	最終年度(年度)	男女いずれか一方の数が総数の10分の4未満とならないこと。	
	実績値			27.80%	31.60%	29.8%				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
男女共同参画啓発事業	1,107千円	①効率性 △ ②妥当性 ○ ③有効性 △ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	男女共同参画プラン(第2次)を策定した。また、男女共同参画行政の啓発事業として、講演会・セミナーの開催、情報誌「パスポート」の発行等を行った。			
女性相談事業	2,738千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	面接・電話による女性相談業務を行った。			
女性史編さん事業	1,641千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D ■E		
	事業の概要	かまぐら女性史第4集「通史」を発行し、一連の女性史編さん事業が終了した。			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	かまぐら21男女共同参画プランの計画期間満了に伴い、第2次プランを策定する。また、審議会等への女性委員登用率の向上のため、全庁的な取り組みを行う。
課題解決のための取組	鎌倉市男女共同参画推進委員会での審議、市民・庁内関係課からの意見を組み込みながら第2次プランの策定を行った。
未解決の課題	市の審議会等における女性委員の比等の向上を図るとともに、市民・事業者等に対して男女共同参画社会の理念をさらに周知することが必要である。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 △ ④公平性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
			庁内各課に男女共同参画の理念を浸透させるとともに、市民や事業者に対する周知活動を継続する。あわせて女性相談の充実へ努める。	↓ B	課長等名 文化人権推進課長 青山 陽子

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
男女共同参画啓発事業	主な個別事業	853 男女共同参画推進委員会報酬	460	278	■適切 □見直し余地あり
		853 専門相談員報酬	40	0	■適切 □見直し余地あり
		853 男女共同参画フォーラム講師等謝礼	582	438	■適切 □見直し余地あり
		853 男女共同参画情報誌「パスポート」製作委託	492	353	■適切 □見直し余地あり
女性相談事業	主な個別事業	1150 女性相談員報酬	2,516	2,477	■適切 □見直し余地あり
女性史編さん事業	主な個別事業	1153 女性史編さん指導者等謝礼	385	365	■適切 □見直し余地あり
		1153 女性史作成委託料	1,943	1,277	■適切 □見直し余地あり
		1189 女性史販売委託料	28	7	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり